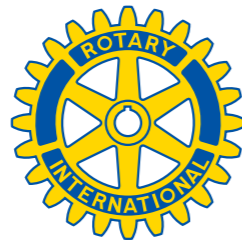


2012-2013 ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

8



奉仕を通じて平和を

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2012-2013 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

現役生涯



好弘



国際ロータリー第2510地区

2012-2013年度ガバナー 細川好弘

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512

e-mail : rid2510@nifty.com http://rid2510.org

2012-13年度 国際ロータリーのテーマ

奉仕を通じて平和を Peace Through Service



国際ロータリー第2510地区2012-2013年度 地区目標

- I ロータリーを新世代と共に未来につなげよう。
- II 地域や世界に役立つ奉仕をしよう。
- III 今一度、親睦と友情を拡大しよう。

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
会員増強月間に因んで	2
2012-2013年度 地区委員会活動計画	3
2012-2013年度の大震災支援事業方針に関して	13
2012-2013年度地区大会のご案内	14
新会員のご紹介・クラブ事務所電話・FAX番号の変更について	16
ガバナー・ノミニエ候補者推薦のお願い・文庫通信	17
地区カレンダー	18



ロータリーは親しい友人の集まりです 8月は増強月間

国際ロータリー第2510地区

2012-13年度ガバナー **細川好弘** (静内RC)

ポール・ハリスは田舎からシカゴに出て来て弁護士を開業します。弁護士だから当然知人はできます。しかし友人ができない。それで大変寂しい思いをします。そこで友人がおらずに寂しい思いをしている者がいるのではないかと考え、親しい友人の集まりとしてロータリークラブを創る決心をしたと伝えられております。

知人ではなく友人の集まりがロータリーの基本的な考えであります。4人で始まったロータリーが今では世界に122万人余の大組織になりましたが、その基には創始者の方々の強烈な精神がありロータリーの基本があり、魅力があったから大発展につながったのであります。

2012-2013年度国際ロータリー会長田中作次氏はロータリーの魅力を伝え、惹き付け、会員を維持し、ロータリアンであることの素晴らしさを伝えるようにと呼びかけておりますが、現在世界では増強されておりますが、日本のロータリーは出席率の低下と会員の減少が大きな問題となっております。

国際ロータリーの今後の成長のために、現会員の維持と新しい仲間の勧誘に引き続き力を注ぐことが求められております。

RI理事会では2015年までに会員数130万人を全世界の目標にしました。これは今後3年間に毎年3%の会員増強が反映されてのことですが、各クラブの会員増強の目安としていただいて、平和を語り、ロータリーを楽しみ、親睦を深めることで「友情」という素晴らしい財産を拡大することに貢献しようではありませんか。

ロータリーの将来的な繁栄の道は、新世代を育みながらの実り多い道でもあり、永遠不滅の道でもあります。

第2510地区内では子供と親のためのマナーキッズ活動を展開されているクラブもございますが、1才からの各種青少年奉仕、新世代奉仕、学友、ライラリアン等30才代に及ぶロータリー家族を総合的に活用することで共に成長していくのではないのでしょうか。未来への固い絆となります新世代奉仕への投資はロータリーの公共イメージを高め、会員の意欲も高めて行きます。

ロータリーの会員増強という大事業は会員一丸となったとき、大きな力を発揮し、目標の達成へと導いてくれます。

非才な私は職人の道を歩んでおります。天から与えられた自分の生業は両親のお陰であることに感謝しておりますが、定年の無いこの道、入門はあるけれど卒業のない世界、生涯現役であります。現在、傘寿を迎えることができるであろうか76才です。

日本のロータリアンで100才を過ぎてから入会された会員もおられます。入会理由は例会に招かれて卓話をされ、ロータリーの素晴らしさを知った事だそうです。

ロータリー活動を支える先輩ロータリアンと共に「超私の奉仕」を継承し、老・壮・青の良さを発見し合う親しい友人の集まりとして会員増強を実践して下さい。



会員増強はクラブ会長の 熱意が決め手！

地区会員増強委員会

委員長 **熊澤隆樹** (小樽RC・PG)

会員増強と拡大はロータリーの活力源であるといわれています。現状のように、クラブ数の変化がなく、クラブ会員数の減少が続くと、奉仕活動を減らさない限り奉仕にあたる人数が減ってしまいます。その上、新しい会員が入らなければクラブ会員の平均年齢が上がります。クラブの活力が下がり、クラブの魅力が失われてきます。魅力あるクラブには、おのずから人が集まります。集まるのではなく、集まってきます。そのためにも魅力あるクラブ作りが求められています。

そこで、各クラブはロータリーの綱領（目的）に基づいた奉仕活動を四つのテストによる行動規範で行うことが重要になってきます。しかし、この事が一般会員にどこまで徹底されているでしょうか。また、入会間もない新会員にどこまで研修が行われているでしょうか。昨年度実施したIMには、その不足を補うために研修の目的がありました。そして、3年未満の退会者が退会者の7割を占めるということから、地区大会の会員育成セミナー（主に会長、幹事対象とする）の並行プログラムとして、新会員（1年未満）の研修セミナーを行う必要性を、公式訪問をしながら強く感じておりました。今年度、サンディエゴで開催された国際協議会で、モンティJ. オーデナートRI会員増強・維持委員長は、『ロータリー会員増強という最優先課題』と題した講演の中で「ロータリーについて語り伝えることを怠っては、真のロータリアンであるとはいえません。」と述べて、先輩ロータリアンの役目を訴えております。

その上で欠かせないのは、本業をさておいても出席したくなる例会作りです。そこでの有意義な卓話・奉仕活動から生まれた友情、そして仲間意識・異業種の方々との様々な情報交換、そこで生まれる信頼できる会員との週一度の楽しいひと時を持てる喜びは、各会員のすばらしいクラブライフを作り上げてくれております。例会出席が会員義務の90%であるという先輩ロータリアンもおられます。

今一度、RIの戦略計画（クラブ強化、人道的奉仕活動、公共イメージアップ）を見直してみてもどうでしょうか。前述の内部的なものの外に外部的状況を作り上げるために必要であると思います。クラブの活性化が、会員増強の力となり会員増強がまたクラブの活性化へと循環することになります。

この厳しい社会状況の中で増強を行っているクラブがありますが、そのクラブはいずれもクラブ会長がリーダーシップを発揮され、増強に取り組んでいるところです。色々な方策より会長の熱意が決め手であると感じております。皆様の活躍を楽しみにしております。

▶ 2012-13年度地区委員会活動計画 ◀

会員増強委員会



委員長

熊澤 隆樹
(小樽RC・PG)

1. 活動方針

- ①ロータリーの輝く未来は、会員増強にかかっているという認識のもとで、地区会員増強委員会では、増強の改善策、解決策について情報交換を行い、その上で各グループのクラブ会員増強委員会等の情報伝達を密に行う。
- ②各クラブに今年度の勧誘計画を立ててもらい、これを実施するように奨励する。

2. 活動計画

- ①会員減少の大きな要因には、会員の高齢化、社会状況の悪化等であるが、地区会員増強委員会としてそれらに対応した対策を、検討することが重要である。
(地区会員増強委員会 11月開催予定)
- ②ロータリーへの正しい理解をしてもらうために、新会員への十分な情報と、地区大会、国際大会への参加という行動を積極的に推進する。
- ③クラブ会員増強委員長・また情報委員長には、円熟した会員にお願いして、地区の会員増強セミナーに参加してもらい、クラブの強化と発展のために協力してもらう。
(地区会員増強セミナー 7月15日開催)

R I 国際大会推進委員会



委員長

佐々木 正丞
(札幌RC・PG)

1. 活動方針

2013年R I国際大会は、2013年6月23～26日まで、ポルトガルのリスボンにて開催されます。ヨーロッパの西岸に位置するリスボンは、多くの探検家が活躍した豊かな歴史を誇り、情緒あふれる街並みを構える一方、現代的な要素も持ち合わせた魅力的な街です。ヨーロッパ最古の都市の一つであるリスボンには、世界的にも有名な博物館や史跡があります。太陽の光がさんさんと降り注ぐ中、地元の人々からの温かな歓迎を受け、新鮮なシーフードや伝統音楽ファドを楽しみ、数々の史跡を訪ねながら、ロータリーならではの国際大会を体験できる機会ですので、是非皆様のご参加を推進したいと思います。

2. 活動計画

細川ガバナーのご指導のもと、ポルトガルのリスボンで開催されるR I国際大会の情報を提供していきます。
また、多くの地区内ロータリアンがR I国際大会にできるようにガバナー月信等で案内していきたいと思ひます。

文献資料室



委員長

八木 徹
(札幌東RC)

1. 活動方針

- ①ロータリーにふさわしい文献・資料の収集、整理を行う。
- ②インターネット利用法を再構築する。

2. 活動計画

- ①会員に利用して戴くように広報を工夫する。
- ②インターネットを利用した情報提供。
・地区広報・IC委員会と協力して行う。
- ③ロータリー資料の保存方法と廃棄資料の確認作業

クラブ奉仕委員会



委員長
長谷川 寿朗
(札幌手稲RC)

1. 活動方針

細川ガバナーは地区目標の一つとして、「今一度、親睦と友情を拡大しよう。」を掲げられてます。親睦と奉仕はロータリー運動の両輪であるといわれます。そして、ロータリーにおける奉仕の中心概念は「職業奉仕」であり、ロータリーがロータリーとして存在する所以であります。

その「職業奉仕」に対する基本姿勢には、極めて高度の倫理観が求められていることについてはご承知の通りです。

以上を踏まえた上で、今年度も、クラブ活性化の一つの手段である「CLP」への取り組みについて、各クラブに情報提供をしてゆく必要があろうと考えております。

2. 活動計画

- ①「クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）」について、各クラブからの依頼に応じて卓話に伺う。
- ②地区の「CLP特別委員会」並びに、必要に応じて他の委員会とも連携をはかり、RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）のような研修機関についての研究を行う。
- ③地区内各クラブの活性化への取り組みについて、情報を集め、現行の地区組織について、検証と研究を行う。

広報・IC委員会



委員長
堀江 和美
(砂川IC)

1. 活動方針

- ①インターネットを利用して情報交換を行うとともに各クラブに対して必要な情報を効率的に伝達する。
- ②地区ウェブサイト充実を図る。
- ③クラブのIT化への協力をする。
- ④地区広報に関するありようを模索する。

2. 活動計画

- ①メールマガジンの配信
 - ・インターネットを通じて流通する情報や地区内の情報、さらには他地区の有用な情報を速やかにガバナーはじめ地区内の会員に電子メールで配信する。
- ②地区ウェブサイト
 - ・地区からの情報および各グループ、各クラブからの情報を掲載し情報の共有化を進め、ロータリーの広報にも意識した運用を心掛ける。
 - ・各地区委員会と連携してすべての委員会のページを制作し、地区委員会とクラブや会員との距離を近づけるお手伝いをする。
 - ・速報性を生かし月信などの記事をより早くクラブに伝達する。
- ③インターネット活用の普及促進
 - ・RIのホームページやROTARY JAPANのホームページ上にある情報の取得方法や利用方法を紹介する。
 - ・IT化が進んでいるクラブの実例を参考として紹介する。
- ④各クラブ・地区委員会のホームページ作成のお手伝い
 - ・ホームページを立ち上げるための講習会と運用ノウハウ講習会開催を目指して準備を行う。
- ⑤委員会メンバーの相互交流によりレベルアップを図る。
 - ・オンライン（インターネット上）、オフライン（直接会う委員会）で情報交換を行うことによりお互いのレベルアップを図り、所属グループや各クラブへフィードバックする。

職業奉仕委員会



委員長

田澤 泰明
(札幌南RC)

1. 活動方針

2012-2013年度田中作次RI会長は今年度のテーマを「奉仕を通じて平和を」としました。

それを受けてRI第2510地区細川好弘ガバナーは、3つの地区目標を掲げています。その中で「地域や世界に役立つ奉仕をしよう」と掲げられています。田中作次RI会長は、自分はビジネスマンで事業を成功させるのは、顧客の満足を追求する以外ないとおっしゃられています。結果的にそのような会社は、高い職業倫理を持っています。ロータリアン各自が、自らのクラブ職場のみならず、広く地域社会、世界において職業奉仕の理念に基づき、職業奉仕の普及、実践に努めることを活動方針とします。

2. 活動計画

- ①クラブで職業奉仕の意義が高まるように、職業奉仕フォーラム等で職業奉仕の理解のために会員相互の勉強会開催を奨励する。
- ②職業奉仕についての、クラブからの卓話の要請にこたえる。
- ③職業奉仕に関連する資料文献の紹介を行い、各クラブの職業奉仕の理解を深めさらに地域社会、世界において職業奉仕理念の普及を支援する。
- ④子供たちへの出前事業・職場体験に協力していただき、子供たちへの思いを高めてもらう。

奉仕プロジェクト委員会



委員長

阪崎 健治朗
(札幌西RC)

1. 活動方針

統合されていく国際ロータリーの組織は、クラブのより深化した活動を求め、かつての三大奉仕から、五大奉仕に拡大統合された。それによってクラブにおいては各委員会が緊密な連携をとりつつ、創造的な活動の開発とロータリアンの積極的な参画を求めている。当委員会は熊澤ガバナー年度に創設された委員会だが、この一年大きな変革を急ぐのではなく、各クラブの実態を知り、地区が必要としている中身を探り、クラブの活性化に協力する。

2. 活動計画

- ①帰属する委員会の活動方針や計画を共有すべく、情報交換を緊密に行う。
- ②各クラブの状況を把握するために情報の収集に力を入れる。
- ③2013年度からの「未来の夢計画」の情報は当委員会のカウンセラーと相談して分析し、将来の道筋を研究する。
- ④その他

社会奉仕委員会



委員長

清水 哲
(札幌東RC)

1. 活動方針

当委員会は、ロータリーの原点がクラブにあることを常に意識して、クラブの活動が円滑に推進されるために、サポートする委員会です。

同時にクラブが一層活性化するために、いくつかのヒントを提示し、参考にしていただけるように積極的な姿勢でのぞみ、地区とクラブの友情ある関係を深めていく一年にしていきます。

2. 活動計画

- ①2010-2011年度から続いて3年目となる地区大震災救援奉仕プロジェクト委員会に協力します。大震災救援奉仕の活動全体に関わって、提案し協力します。同時に、その一環の事業企画である、《福島キッズキャンプIN北海道》の夏編には、他の地区

- 委員会、第1、第2、第3グループの各クラブ、ロータリークラブ以外の団体とも協力しながら積極的な役割をにないます。
- ②2010-2011年度に制作した、社会奉仕モデル紹介冊子『明日へ』の内容を各クラブにお知らせして、各クラブの社会奉仕活動の一助としていただく。
 - ③各クラブの社会奉仕活動をお互いに知り、勉強をしたり、協力するために、電子媒体の活用をする仕組みをつくります。

国際奉仕委員会



委員長
松原重俊
(砂川IRC)

1. 活動方針

第2510地区各クラブの皆様、地区国際奉仕委員会の活動を理解していただき、国際奉仕事業へ参加していただけるようにサポートする。

2. 活動計画

①国際奉仕事業の実施

各クラブに、支援国の実情に応じたモデルプランを提供し、事業への参加協力をお願いする。

さらに、検証ツアーを実施し、事業の実施状況を確認するとともに相手ロータリークラブとの友好をはかり、築いてきた絆をさらに強いものにする。

②国際奉仕活動の啓蒙

卓話、ロータリー雑誌、地区行事、ホームページ等で地区国際奉仕活動を紹介し、多くの会員に理解していただく。

③「未来の夢計画」に向けて

国際奉仕活動の実施にあたり、「未来の夢計画」を理解しスムーズに移行できるよう勉強会を実施する。

新世代奉仕委員会



委員長
柳孝一
(札幌南RC)

1. 活動方針

①細川ガバナーが地区目標に挙げた「ロータリーを新世代と共に未来に繋げよう」を実践します。

②青少年交換委員会、インターアクト委員会、ローターアクト委員会、新設されるRYLA委員会の各委員会と連携をとり、情報交換を密にいたします。

③地区内ロータリークラブに新世代の存在と、その活動を認知・理解をおねがいたします。

④新世代奉仕活動を通し、ロータリー活動の広報・PR活動に努めます。

2. 活動計画

①7年ぶりに行われるRYLAセミナーに協力します。

②9月「新世代月間」をガバナー月信等で広く地区内クラブに認知と理解を深めていただくような活動をします。

③地区委員会を複数回開催します。

④インターアクト・ローターアクトクラブの新設をお手伝いいたします。

⑤ROTEX組織を再構築、ローターアクトの学友会(OB・OG会)の設立を委員会と協力し、実行します。

⑥インターアクター・ROTEXやライラリアンがローターアクトクラブ会員になる仕組み作りをします。

ローターアクト委員会



委員長

蝦名 大典
(札幌南RC)

1. 活動方針

- ①新世代奉仕を再認識し、ライラセミナーに参加することでリーダーシップについて学び、会員の増強につなげる。
- ②1人でも多くローターアクト出身者をロータリークラブに入会させる。

2. 活動計画

- ①ライラセミナーに参加をしリーダーを務める。
- ②提唱ロータリークラブの例会に参加し、互いの関係を深める努力をする。
- ③インターアクト委員会と協力し、インターアクターにローターアクト活動を紹介する。
- ④18～24歳の若い会員に役職を与え研修を実施する。
- ⑤地区全体で会員増強のイベントを行う。

インターアクト委員会



委員長

山口 史朗
(札幌東RC)

1. 活動方針

人類の未来を担うのは青少年です。無限の可能性を秘める青少年に対して、私達は何が出来るのでしょうか。

インターアクトの目標は、「指導力や高潔な心を身につけ、他者への思いやりと尊重の念を育み、個人としての責任や一生懸命仕事をするこの価値観を理解し、国際理解と親善を推進することです。」とされています。

ロータリークラブが、インターアクト・クラブの設立を支援し、指導やサポートを提供し、個々の自助・自立したインターアクト・クラブと交流を深めていく。双方に有益な関係構築をしていきたい。

また、提唱クラブ以外のクラブのインターアクトに対する認識が低いと感じております。ロータリアンのインターアクトに対する理解と協力の拡大を推進していきたい。

2. 活動計画

- ①研修旅行の実施
- ②年次大会の開催
- ③インターアクト・クラブの情報発信の充実
- ④地区内クラブとの交流機会の設定
- ⑤ロータリアンの理解と協力を深めるプログラムの考案
- ⑥地区大会のブースの出展
- ⑦新規インターアクト・クラブの設立

青少年交換委員会



委員長

有田 京史
(新札幌RC)

1. 活動方針

国際理解推進のために、その担い手を育成してゆく青少年交換プログラムは、今年度R Iテーマ「奉仕を通じて平和を」と願いを同じくしています。今年度も、交換事業のより一層の充実のため、各クラブとの情報の共有に努め、地区新世代奉仕・インターアクト・ローターアクト・RYLA各委員会との連携を深めてゆきます。

2. 活動計画

- ①アメリカ・カナダ・オーストラリア・フィンランド4ヶ国(7地区)への派遣と受入。
- ②派遣候補生のためのオリエンテーションの実施。(8回)
- ③受入れのためのオリエンテーションの実施。(クラブカウンセラー・ホストファミリー等)
- ④派遣学生壮行会、受入学生歓送迎会の実施。(4回)

- ⑤受入学生・派遣候補生交流のためのレクリエーションの実施。
- ⑥受入学生・派遣候補生の地区行事への参加。(地区大会、RYLA等)
- ⑦ホストファミリー・受入関係者交流会の実施。
- ⑧ROTEXとの交流及び名簿の作成。
- ⑨青少年交換プログラム危機管理オリエンテーションの実施。
- ⑩年間15回の委員会の開催。
- ⑪サッポロ・インターナショナルナイトへの参加。(受け入れ学生・派遣候補生・ROTEX他)
- ⑫震災被災地区の青少年交換委員会との交流・支援。

RYLA委員会



委員長
舩田 雅彦
(札幌南RC)

1. 活動方針

RYLAは、ロータリー青少年指導者養成プログラムと訳されているとおり、将来の地域社会の指導者となる若者を養成するためのプログラムです。したがって、実施するプログラムの内容についても、指導者としての資質を高める、あるいは将来指導者を目指すというモチベーションを与えるためのものである必要があります。

また、このプログラムを通じてロータリークラブの社会における価値を伝えることで将来のロータリアンを発掘するという目的もあります。

本年度は、RYLA再開初年度であるため、これらの目的に資する活動がどこまでできるかは未知数ですが、次年度以降も続く活動の足がかりとなる活動を行っていきたいと考えています。

2. 活動計画

①地区大会におけるRYLAの成功

2012年10月13日、14日に新ひだか町で実施される地区大会の並行プログラムとしてRYLAを実施することが決まっておりますので、まずはこのRYLAを成功に導くことを今年度最大の目標としています。

そのためには、プログラムの内容を充実したものとするとともに、地区内各クラブにリーダー養成の意義を伝えるなどして、新世代のメンバーに多数参加してもらうための活動を行って参ります。

②札幌市内における研修プログラムの実施

2012年2月に実施された全国RYLA研究会において、鹿児島市内ロータリークラブの共同事業として地区内ロータリアンを講師とした連続研修会が紹介されておりました。

参加資格は19歳から概ね30歳までの「日本の未来を背負う気概を持つ者」という募集要項に対して81名の応募で、毎回73名程度で実施されたということです。

この事業はローターアクトクラブの立ち上げを目的として実施されたものでしたが、地域のリーダーを養成するためにロータリークラブが積極的に貢献する姿勢はまさにRYLAの精神に合うものであり、当地区においても実施する意義があるものと考えています。

本年度は予算の制約もあるため、具体的な実施については次年度になってしまうかもしれませんが、地区内のロータリークラブメンバーの中から講師を厳選して、次代を担う地域の新世代を養成するための連続研修プログラムを実施したいと考えています。なお、このプログラムを通じてロータリークラブの社会における認知度を高め、意欲のある会員勧誘に結び付けるという副次的効果も期待できるものと考えております。

ロータリー財団委員会



委員長

岩城 秀晴
(札幌南RC・PG)

1. 活動方針

財団の認識を高め、世の善行を行うことが1917年にアーチ・クランフがロータリー財団への基金を創設した基本理念により、その目標を達成しよう。

特に、2013年度より実行される未来の夢計画に対しての新制度への態制づくりを確立させる。

2. 活動計画

- ①財団への「毎年あなたも100ドル」を寄付する。
- ②2012-2013年度、年次寄付の地区目標を30万ドルとします。
- ③恒久基金、使途指定、大口寄付、ポール・ハリス・ソサエティへの協力
- ④2011年4月1日より「公益財団法人ロータリー日本財団」への寄付は税制上の優遇措置を受けることになったことの周知に努める。
- ⑤未来の夢計画を理解し、新制度への移行期の2013-14年度には補助金制度を周知させる。
- ⑥未来の夢計画の実施制度に資金管理委員会を創設する。
- ⑦各プログラムに積極的に参加する。
- ⑧ロータリーカードへの協力

補助金委員会



委員長

久保田 俊昭
(札幌RC)

1. 活動方針

①補助金の配分について、地区方針を作成すると共に、地区関連委員会との連絡調整を行う。

②補助金についての資金活用、資金管理を適切に行う。

③各クラブの新補助金の参加資格取得に向けて、指導助言を行う。

2. 活動計画

①2013年度から本格実施される「未来の夢計画」については、2012年度は提案年度であり、各クラブや地区の関連委員会との連絡調整を密に行う。

②「未来の夢計画」でのグローバル補助金を活用する人道的プロジェクトについては、プロジェクト件数が少ないことが想定され、他方、金額が大きいこと等から、財団委員会と当委員会とで担務することとし、地区の奉仕プロジェクト委員会との連絡調整を密に行う。

③冊子「ロータリー財団の概要」の見直しを適宜行う。

財団資金推進委員会



委員長

鍋谷 操子
(函館セントラルRC)

1. 活動方針

①財団の寄付の管理運営を図る。

②寄付額に対する理解を図り、増進強化に努める。

2. 活動計画

①毎月ごとの寄付について把握する。

②大口寄付者、ポール・ハリス・ソサエティについて推進する。

③税制上の優遇措置として寄付控除を受けることができるようになったのでより一層の推進に努める。

④年度内の1人100ドルの寄付を推進する。

⑤財団ポイント利用による寄付推進を図る。

職業研修委員会



委員長
神部 洋史
(滝川RC)

1. 活動方針

- ①「未来の夢計画」に基づく次世代プログラムとして、研究グループ交換（GSE）プログラムに代わって2013-2014年度から職業研修チーム（Vocational Training Team：VTT）プログラムとなり、より世界社会貢献度の高いプログラムになるので、地区内にプログラムについての紹介や説明を行い、できるだけ理解を得られるような委員会活動を計画する。
- ②委員会自体も従来のGSEプログラムから脱却するために、2012-2013年度はVTTに関しての勉強会やパイロット地区で行われたプログラムの実践例についての検討を行い、VTTのチームリーダー委嘱のお願いや補助金（新地区補助金やグローバル補助金さらにWFから）の受け方などについての検討などを重ねて、2013-2014年度からの実施に備える。
- ③各クラブ単位でもVTTプログラムの申請が行えるため、補助金の管理が難しくなる可能性があり、地区ロータリー財団委員会や補助金委員会と連携を密にして、クラブ単位での申請をやめて頂くとともに、できるだけ当委員会の管轄下で実施できるように指導を徹底したい。
- ④2012-2013年度にはVTTの派遣や受け入れも予定されていないが、2013-2014年度の派遣に関しては、準備が整い次第チームメンバーの募集を行い、派遣に際しての準備を開始する。また受け入れに関しては申し入れがあった段階で相手地区の情報を確認し、なるべく受け入れる方針で委員会にて検討し結論を出す。

2. 活動計画

- ①定期的(隔月)に委員会を開催して、VTTプログラムや補助金に関しての勉強会を行い、VTTチームリーダーの人選を事前に開始する。
また緊急の際は臨時委員会を開催して、問題点を早期に解決できるようにする。
- ②従来のGSE委員会の資料を整理保存する。
- ③地区大会のブースにGSEプログラムの集大成を展示公開する。
- ④VTTプログラムの運用がスムーズに行われるように早期に当地区用のマニュアルを作成する。

奨学委員会



委員長
矢橋 潤一郎
(札幌東RC)

1. 活動方針

ロータリー財団の教育プログラムである国際親善奨学金は、未来の夢計画のもとシステムを一新します。今年度は移行期にあたるため、新規募集を休止し、次年度以降の奨学金のあり方について検討します。そのため、旧GSEなど財団プログラムと横断的に意見交換を行い、効果的な奨学金支給について議論する予定です。

2. 活動計画

2012年7月 2012-13年度奨学生壮行会
以後、年度内に委員会を数回開催。合わせてロータリー財団委員会に意見を求める場を設けます。
また、今年度は韓国（第3700地区）から北海道大学へ財団奨学生が来ております。ホストを札幌真駒内RCにお願いしております。彼女のフォローも随時行います。

新地区補助金委員会



委員長

中山 裕 視

(札幌真駒内RC)

1. 活動方針

- ①第2510地区の各クラブにおいて人道的奉仕活動を積極的に活動してもらうために、その活動に地区の補助金を有効に活用する。
- ②補助金の使途は人道的奉仕活動に限られる(病人、障害者、子供や老人等々ハンディのある弱者に対する奉仕活動に認める)。また、地球環境保全ということで植樹は認める。そして奉仕活動のニーズと実践の熱意と努力姿勢が顕著なものに補助する(第三者に丸投げすることは不可)。

2. 活動計画

- ①所定の用紙に記入して4月末までに次年度ガバナー事務所に提出することが必要(4月末までの提出は注意すべき重要なことです。期限を過ぎた提出は当年度の補助金の支給は認められません)。
- ②提出された内容について審議及び調整をする。そしてその内容をロータリー財団が吟味する。
- ③ロータリー財団が吟味した案件を補助金監督委員会と合同で監督委員会の監督の下で審議・審査をする(10月予定)。
- ④審査した決定案件について年内に各申請クラブの銀行口座に決定補助金金額を振り込む。

補助金監督委員会



委員長

愛 須 一 史

(札幌はまなすRC)

1. 活動方針

適正で補助金の目的に適った補助金支出がなされるよう、監督していく。

2. 活動計画

ロータリー精神に沿った各クラブの実情を反映した支援活動のうち、人道的支援活動にあたり、ロータリアンが参加していると認められるものに対しては適正な補助金が交付されるように、1件1件の申請を丁寧に検討して、審査を行っていききたい。

米山記念奨学委員会



委員長

大 作 佳 範

(札幌幌南RC)

1. 活動方針

今年度のR I会長のテーマが「奉仕を通じて平和を」となっております。米山記念奨学委員会の使命は「将来、日本と世界を結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成すること」と掲げられており平和に貢献する人材を育成することと読み替えることができます。

まさしく、「奉仕を通じて平和を」を実践するものと考えます。

第2510地区では大学のある地域が限られていますが、大学がない地域においても米山が平和に繋がる奉仕であること、そして、米山事業の意義と感動を広めていきたいと思っております。

一人当たりの寄付目標額は 16,000円です。

(普通寄付4,000円、特別寄付12,000円)

よろしくお願い致します。

2. 活動計画

- ①年間4回程度の委員会を開催する。

- ②10月の米山月間に限らず、奨学生をホストしていないクラブを訪問し、米山事業の意義と感動を伝える。
- ③地区大会はもとより、他委員会の行事に積極的に参加し、交流を深める。
- ④地区奨学生及び学友、多くのロータリアンと家族の交流を深め、国際平和へ繋がる礎となるような交流をしていきたい。

米山学友委員会



委員長
半田 善行
(小樽RC)

1. 活動方針

- ①米山学友委員会は、米山学友会（北海道）の運営をサポートする事を目的に発足して10年が経過しました。
- ②今年度も引き続き活動方針は、学友とロータリアンとの更なる交流、絆を深めるための橋渡し役として活動を続けたいと思います。
- ③学友会最大の行事であります総会・家族懇親会などに、少しでも多くのロータリアンが参加できるよう呼びかけを行い、今年度も、米山記念奨学委員会、財団学友及び財団学友委員にも参加をして頂き、交流を深めたいものと考えます。同世代の交流が深まることにより、日本と米山学友出身国との絆が更に深まる事を願います。

2. 活動計画

- ①米山学友の名簿の更新。
- ②米山学友会員との更なる交流と、総会（11月10日）並びに家族懇親会（4月）に多くのロータリアンの参加を呼びかける。
- ③ロータリー財団学友及び地区財団委員との交流を深めるため、連絡調整を行う。
- ④米山記念奨学委員会主催の行事に参加し、奨学生が修了後の学友会入会を進める。
- ⑤米山月間に各ロータリークラブを訪問し、卓話を実施する。
- ⑥長沼RCが主催している『国際交流フェスティバル』に米山学友が参加するよう呼びかける。
- ⑦機関誌『米山学友会（北海道）だより』の発行（12月）

財団学友委員会



委員長
菅原 秀二
(札幌大通公園RC)

1. 活動方針

- ①財団学友会の活動に対する助言と支援。
- ②財団学友のロータリー活動への参加推進。
- ③財団学友に対するロータリアンの理解向上の推進。
- ④財団学友会の活動の広報と日本ロータリー学友会との連携の強化。

2. 活動計画

- ①委員会の開催。活動計画の検討と確認。
- ②財団学友帰国報告会の開催。
- ③財団学友のクラブ例会での卓話の推進。
- ④財団学友の地区大会へのブースの設置と出席の推進。
- ⑤学友会ニュースレター発行への支援。
- ⑥米山学友会との交流の促進。
- ⑦日本ロータリー学友会との交流の促進。
- ⑧学友のロータリークラブへの入会の促進。
- ⑨新規奨学生やGSE（職業研修）チームへのオリエンテーションへの協力の推進。
- ⑩学友の語学力を活かし、地域ボランティアとして地域のイベントへ参加するなど、国際親善に寄与する諸活動への支援。

2012-2013年度の大震災支援事業方針に関して

地区大震災救援奉仕プロジェクト委員会

当委員会の運営に関しまして、日頃よりひとかたならぬご高配、ご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

各クラブに、東日本大震災にともなう「災害支援金ご協力をお願い」をいたしておりましたところ、2010-2011佐々木正丞年度、2011-2012熊澤隆樹年度に総額31,743,891円指定口座にお振込みいただきました。皆さまのご厚志に心より感謝、御礼を申し上げます。

この支援金の中の1,716万円で1) 放射線測定器贈呈、2) 飯舘村車両贈呈、3) いわき海星水産高校の校舎復旧支援、4) 福島キッズキャンプ IN 北海道、5) 福島アンダー18検査・登録移動車両贈呈などの事業（総額5,315万円）を実施しました。

本事業はマッチング・グラント及び東日本震災復興基金日本委員会補助金を利用したものであり、地区ロータリー財団委員会（委員長 岩城秀晴）から多大なご協力を頂戴したことを申し添えます。

このため、2012-2013細川ガバナー年度においては、支援資金1,458万円を引き継ぐことになり、今年度は『クラブ・グループからの支援事業提案に基づき、地区版補助金（地区支援金利用）、マッチング・グラント等を利用し支援を行う。』ことを事業方針とすることにしました。

その概要は以下の通りです。

★支援先は第1ゾーンのRID2520（岩手、宮城）、RID2530（福島）とします。

★支援スキーム

①クラブ・グループからの支援事業提案に基づき、地区版補助金（地区支援金利用）、マッチング・グラント等を利用し支援を行います。なお、クラブ・グループ拠出金割合は事業総額の原則10%以上とさせていただきます。

申込み用紙をご用意しております。大震災救援奉仕プロジェクト委員会のウェブページからダウンロードをお願いします。（<http://rid2510.org/disaster-relief/>）

②東日本震災復興基金日本委員会に認められた事業に類するものであり、人道的支援の観点に合致するもの。

なお、東日本震災復興基金日本委員会に認められた事業は、「東日本震災復興基金日本委員会からの報告（1）～（7）」をご覧ください。ロータリーの友の1) 2012年6月号P30-32、2) 2011年11月号P17-20、3) 2011年12月号P24-26、4) 2012年1月号P27-29、5) 2012年2月号P22-24、6) 2012年4月号P20-21、7) 2012年6月号P30-32に掲載されております。

③支援事業提案締切は、2012年10月末日とします。ただし、地区版補助金残高（1,458万円）を超える状況になった場合は、締切日が早くなります。

ロータリアン各位、各ロータリークラブには、今後とも何かとご迷惑・ご協力を仰ぐことになると思っております。一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

2012-2013年度 **ホストクラブ** 静内ロータリークラブ

国際ロータリー第2510地区

地区大会



2012. 10/13 (土) **第1日目 新ひだか町公民館**
 新ひだか町静内古川町1丁目1番2号
 TEL 0146-42-0075

13:00 会長・幹事会

14:20 地区指導者育成セミナー・ライラセミナー
 基調講演 「愛と汗の心」
 (財)修養団 久世 郁夫

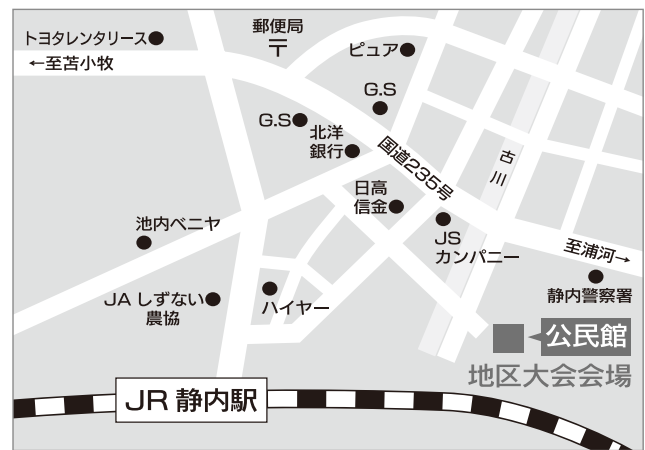
15:40 フォーラム

18:00 RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
 会場：ウエリントンホテル

2012. 9/16 (日) **記念囲碁大会**
 会場：KKRホテル札幌
 札幌市中央区北4条西5-1
 TEL011-231-6711
登録料 5,000円

2012. 10/12 (金) **記念ゴルフ大会**
 会場：苫小牧エミナゴルフクラブ (南コース)
登録料 5,000円

会場ご案内図



2012. 10/14 (日) **第2日目 新ひだか町公民館・静内体育館**
 新ひだか町静内古川町1丁目1番2号
 TEL 0146-42-0075

9:00 本会議

10:30 スパウス

13:00 記念講演

16:30 懇親会

＊ 登録料 ＊

- 会 員……………14,000円
- ご家族……………10,000円
- 新世代…………… 5,000円
- RI会長代理ご夫妻晩餐会……………10,000円



ご挨拶



ガバナー
細川 好弘



地区大会実行委員長
佐藤 雅裕

来る10月13日(土)・14日(日)の両日、新ひだか町において地区大会が開催されます。2012-13年度国際ロータリー田中作次RI会長テーマ「奉仕を通じて平和を」を掲げ、静内RCがホストを、グループ内4クラブがコ・ホストクラブをつとめ、一丸となって準備にあたってまいりました。

記念講演に評論家金美齢氏をお迎えし、「凛とした日本人」と題してご講演をいただき、また、公益財団法人修養団の久世郁夫講師に「愛と汗の心」と題して新世代に関する講演もいただきます。日高路では初めての年次大会でなにかとご不自由をおかけしますが、沢山のロータリアンとご家族のご参加を心よりお待ち申し上げます。

2012.
10/14
日

記念講演

13:00~

凛とした日本人

評論家

金 美齢

(きん・びれい)

プロフィール

日本統治下の台湾台北で出生、早稲田大学第一文学部英文科に留学、同大学博士課程単位取得。英国ケンブリッジ大学客員研究員などをへて日本語学校理事長。故夫周英明氏と共に長年台湾独立運動に関わり、反政府活動家として政府のブラックリストに載せられ旅券は剥奪されて、事実上日本での亡命生活を強いられた。李登輝が台湾人初の中華民国総統に就任すると、ブラックリストから外され、陳水扁政権下では中華民国総統府国策顧問として迎えられた。読売TV-STVテレビで放送中の「たかじんのそこまで言って委員会」では辛口の論評で大好評。「凛とした日本人」、「私はなぜ日本国民となったのか」ほか沢山の著書がある。平成21年日本へ帰化。日本人が失った日本の心をもった評論家、日本を愛し台湾を愛する日本人である。



並行プログラム(10月13日(土)・14日(日))

ライラセミナー

10月13日 17:30 新冠青年の家
10月14日 10:00 フォーラム本会議
13:00 乗馬体験
16:00 懇親会

久世 郁夫 (くせ・いくお)

北海道由仁町出身。
(公財)修養団理事。

愛なき人生は暗黒なり、汗なき社会は墮落なり、の修養団の心を普及するため自然体験活動・ボランティア活動・レクリエーション指導などにあたっている。



2012.
10/14
日

記念懇親会

16:30~



新冠軽音楽愛好会・ブルーホース

プロフィール

昭和48年結成。スィングジャズをはじめ、オールディーズ、歌謡曲、演歌、ポップスなど幅広い演奏を定期演奏会や福祉施設への訪問などで地域に披露している。



国際ロータリークラブ
第2510地区

第8グループ

コ・ホストクラブ

三石RC・浦河RC
様似RC・えりもRC

新会員の紹介

(敬称略)



赤平RC
植村 正志
7月2日入会
道路建設



赤平RC
山森 秀樹
7月2日入会
一般建築工事業



岩見沢東RC
谷口 晴一
7月3日入会
損害保険業



千歳セントラルRC
多賀 勲
7月3日入会
板金工事



砂川RC
佐藤 文優
7月4日入会
新聞販売



羽幌RC
石川 宏
7月5日入会
教育行政事務



江別RC
新館 忠義
7月5日入会
レンタル業



苫小牧東RC
吉田 正範
7月5日入会
花卉配布



苫小牧RC
若林 利和
7月6日入会
乳酸飲料販売

■ クラブ事務所電話・FAX番号の変更について

北広島ロータリークラブ事務所の電話・FAX番号について下記の通り変更致しますので宜しくお願い申し上げます。

旧：電話・FAX番号 011-373-1545

新：電話・FAX番号 011-373-8892

■ ガバナー月信7月号の訂正について

P18の2012-2013年度ガバナー事務所スタッフ・担当「矢島壯之」を「八島壯之」に訂正いたします。

P18の山田博継地区幹事の担当部門について米山記念奨学委員会、米山学友委員会が脱けておりましたので、加筆をお願い申し上げます。

P22の2012-2013年度地区組織図・奉仕プロジェクト委員会カウンセラー「渡邊恭久PG(千歳)」を「渡邊恭久PG(滝川)」に訂正いたします。

2015-2016年度ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 細川 好弘
地区ガバナー指名委員長 渡邊 恭久

2015-2016年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナー・ノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第13条（ガバナーの指名と選挙）

国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)



(298号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報より

◎「あなたにとってロータリーとは何か」 改訂版	菅野多利雄 2012 23p [申込先：緑ヶ丘病院 FAX (022) 366-6243]
◎「国際ロータリーの考え方」	田村 泰三 2012 1p (D.2710月信)
◎「CLPアンケートについての考察」	前田 眞実 2010 4p (D.2720月信)
◎「続まことのロータリアン」	大澤 徳平 2012 1p (D.2640月信)
◎「クラブの「多様性」について」	積 惟貞 2012 1p (D.2620月信)
◎「P.F.ドラッカー5つの質問」	国永 秀男 2011 4p (D.2680地区大会記録誌)
◎「中国『大国化』のなかでの日米関係」	松尾 文夫 2011 4p (D.2650地区大会記念誌)
◎「国際社会における日本の立場」	青山 繁晴 2011 4p (D.2660地区大会記録)

[上記申込先：ロータリー文庫]

地区カレンダー (8月・9月)

8月 会員増強および拡大月間		9月 新世代のための月間	
1(水)	公式訪問(砂川RC)	1(土)	
2(木)	公式訪問(芦別RC)	2(日)	
3(金)		3(月)	
4(土)		4(火)	公式訪問(伊達RC)
5(日)		5(水)	公式訪問(室蘭東RC)
6(月)	公式訪問(函館亀田RC)	6(木)	公式訪問(洞爺湖RC)
7(火)	公式訪問(函館東RC、七飯RC)	7(金)	～8(土) 地区野球大会(伊達)
8(水)	公式訪問(函館北RC)	8(土)	
9(木)		9(日)	由仁RC創立20周年記念式典(由仁)
10(金)		10(月)	公式訪問(札幌北RC)
11(土)		11(火)	～12(水) 第1回ガバナー・エレクト研修セミナー (東京)
12(日)			公式訪問(江別西RC)
13(月)		12(水)	公式訪問(栗沢RC)
14(火)		13(木)	2013-14年度地区研修リーダーセミナー(東京) ロータリー・コーディネーターセミナー(東京) 公式訪問(滝川RC、美唄RC)
15(水)		14(金)	公式訪問(札幌あけぼのRC)
16(木)		15(土)	
17(金)		16(日)	地区大会記念囲碁大会(札幌)
18(土)	～22(水) 福島キッズキャンプ IN 北海道	17(月)	敬老の日
19(日)		18(火)	公式訪問(札幌清田RC)
20(月)	公式訪問(蘭越RC)	19(水)	公式訪問(余市RC)
21(火)	公式訪問(小樽RC)	20(木)	公式訪問(小樽銭函RC)
22(水)	公式訪問(倶知安RC)	21(金)	
23(木)	公式訪問(岩内RC)	22(土)	秋分の日
24(金)	公式訪問(小樽南RC)	23(日)	札幌はまなすRC創立20周年記念式典(札幌)
25(土)		24(月)	
26(日)		25(火)	公式訪問(室蘭北RC)
27(月)		26(水)	公式訪問(登別RC)
28(火)	公式訪問(深川RC、妹背牛RC)	27(木)	公式訪問(室蘭RC)
29(水)	公式訪問(留萌RC)	28(金)	公式訪問(苫小牧RC)
30(木)	公式訪問(羽幌RC)	29(土)	
31(金)	～9/1(土) 日韓親善会議(東京)	30(日)	

2012年8月のロータリーレート 1ドル80円

8月のことば

職人をはじめ身についた生業に「入門はあるけれど卒業はないんだ」という先輩の言葉があります。

終着駅のない生涯現役であるという生業の役目は不滅であります。

ロータリーも生涯不滅であります。

ガバナー 細川好弘 書

